

山王祭子ども神輿連合渡御

令和8年6月20日(土)

昨年から川崎区子ども会連合会川崎支部の有志で集まり、子ども神輿の連合渡御が行えないかと会合を重ねてきました。これは、子ども会がすでに無くなってしまった町会や、子どもが集まらず子ども神輿を出せなくなった町会が増え、将来的には大人神輿を担ぐ担い手も居なくなってしまうと考え、町内会の枠を超えた子ども神輿で渡御をする機会を作りたいと話が持ち上がったのがきっかけです。

雨の中でしたが90名ほどの子どもが集まり、3町会の協力から子ども神輿3基をお借りし、銀柳街から出発し稲毛神社に宮入りをする事ができました。

参加した子どもからは「また参加したい!」との声や、子ども神輿を見た方からは「大人神輿より元気で良かった!」などと言ってもらえることができました。

初めての手探りの中、多くの協力の元に始める事が出来ましたが、この活動が長く続けられる様にしていきたいと思っています。



今回、青少年指導員の研修として小児乳児を対象とした救命講習を企画しました。改めて命を守るための知識と行動の大切さを学ぶことができました。特に小さな子どもに対する心肺蘇生法や異物除去の方法など、大人とは違う対応が必要であることを実践を通して理解することができ、とても有意義な研修でした。地域で子どもたちと関わる機会が多い青少年指導員として、いざという時に少しでも役立てるよう、

今回の研修を通して、命を守るためには日頃の備え

と知識が重要であることを改めて認識しました。今後、このような学びの機会を大切に、地域の子どもの安全・安心につなげる活動に活かしていきたいと思っています。

川崎区指導員研修会
「子ども対象の救命救急研修会に参加して」

研修会実行委員会 委員長 佐藤 哲明

令和8年3月8日(日)

第32期委嘱式

令和8年4月9日(木)に川崎区役所会議室にて、第32期委嘱式が行われました。

今回は65名の指導員の方々が委嘱状を受け取りました。



令和8年度総会

令和8年6月7日(日)に川崎区青少年指導員連絡協議会総会を開催しました。令和7年度の事業報告、決算監査報告、そして令和8年度の事業計画案、予算案について提案と承認を行いました。また、第31期で退任された優良指導員の方々に永年にわたる功績を称え感謝状が贈られました。



編集後記

今後、青少年指導員会の活動へのご理解と皆さまのご参加をお待ちしております。

編集委員
副編集長 戸山 達哉
三堀 泰子
島田 博之
吉田 一郎
野口 恵子
新井 一成
宮崎 靖史
木村 欣央

担当理事

輝け未来へ
育てよう
豊かな心

2026(令和8)年9月 第85号
川崎区青少年指導員連絡協議会
発行責任者 清水善之
編集責任者 戸山 達哉
事務局
川崎区役所地域振興課
TEL (201) 3133
FAX (201) 3209
E-mail 61.tisin@city.kawasaki.jp
川崎区HP

32期
3地区会長
紹介

川崎警察署管内の地区もあって、自転車事故が県内一という事で、年2回自転車の見守り活動を行っています。年々ルール違反の件数は、法改正もあり減ってはいますが、自転車事故が1件でも減るよう、啓発活動を行っています。

中央
地区青少年指導員会会長
河岸 与志夫大師
地区青少年指導員会会長
清水 善之

大師地区の会長は4期目になります。活動を通じて知り合った子どもたちが増え、まちで彼等の元気な姿を見るのが嬉しいです。今期は川崎区の会長も務めますので、3地区が団結して楽しい活動になりますよう頑張ります。

田島
地区青少年指導員会会長
田島 譲

愛のパトロール

7・8月に盆踊りや地域の方から情報があつた公園のパトロールを行いました



中央



大師



田島



自転車安全運転見守り活動 中央地区青少年指導員会 令和8年6月11日(木)

南町交番前の交差点2ヶ所、自転車の無灯火運転に対する声掛けを実施しました。この日通過した自転車300台のうち、36台が無灯火で走行、携帯電話を操作していた人は12台、さらにイヤホン装着している人も26台と多数見受けられました。夜間の無灯火運転は、大きな事故につながる危険があります。自転車も車両の一つです。交通ルールを守り安全に利用しましょう。



大師地区青少年問題講演会 大師地区青少年指導員 野口 恵子 令和8年7月29日(水)

今年度の青少年問題講演会は、子どもの未来サポートオフィス代表 米田 佐知子氏をお迎えし、子ども居場所から考える、子ども若者を見守る地域づくりをテーマにお話いただきました。立ち見が出るほどの大勢の参加で関心の高さがうかがえます。「児童館、フリースペース、子ども食堂、プレバーク等」は居場所を必要とする子どもたちにとって安心して過ごせる場所として果たす役割は大きい。お腹を満たすこと、話をじっくり聞いてあげること。そして、子どもを信じ尊重することがとても重要。」と米田さんは話されました。私たち青少年指導員も、居場所を求める子ども、若者たちの居心地のいい地域を作っていくような活動できれば、と思っています。



大師地区新任指導員研修会 研修委員会 委員長 影山 辰夫 令和8年7月4日(土)

今年度の新任指導員研修会は、新任3名を含むほぼ全員が参加し、開催しました。青少年指導員の役割や心構えを改めて確認するとともに、障がいのある方への対応やコミュニケーションの大切さ、子どもたちを見守る姿勢について活発に意見を交わしました。



大師地区青少年指導員 宿泊研修 大師地区青少年指導員 松本 美知代 令和8年2月28日(土)

令和7年度大師地区青少年指導員宿泊研修は「日本の開国の歴史を学ぶ」下田駅に到着後、ペリー上陸の碑の前で街歩きガイドの方と待ち合わせ、開港から日米和親条約についての解説を受けて下田歴史散策へ出発。ペリー提督とその部下数百人が歩いた道筋は、黒い平瓦と白い漆喰のコントラストが鮮やかなまき壁や江戸城の石垣にも使われたという伊豆石を積み重ねた古民家、蔵が立ち並びレトロで美しい街並みが変わり、ペリーロードへ名付けられました。写真館の開祖「岡田半蔵」の碑や、日米和親条約締結の地「了仙寺」を見学しつづけます。



ペリー艦隊来航記念碑の前で

パトロール委員会 パネルディスカッション 「a世代の子とたち」 令和8年2月26日(木)

こども文化センター(渡田 浅田)の館長や日頃児童の健全育成へ寄与されている方を講師に迎え、2010〜2025年生まれの子世代「a世代」について意見交換を行いました。青少年指導員23名、PTA関係者8名の参加し、SNSなどの付き合い方や子どもとの接し方などについて話し合うとともに、地域ごとの現状や課題を共有し、理解を深める有意義な機会となりました。



川崎市青少年フェスティバル 令和8年3月15日(日)

カルッツかわさき(川崎市スポーツ文化総合センター)で「川崎市青少年フェスティバル」が開催され、来場者数は1,097名でした。運営ボランティアとして、川崎市青少年指導員からは、中央地区2名、大師地区1名、田島地区1名が参加しました。他区からも青少年指導員が運営にあたりました。会場内にはたくさんのブースが並び、工作教室、旗あけ等を設け、高校生、大学生などの実行委員の方々が遊びに来た子どもたちを楽しませていました。



中央地区 ふれあいファミリーウォーク 令和8年3月22日(日)

「小田ファイターズと」

小6 小林 真汰

ほくは、小田ファイターズとしてファミリーウォークに参加しました。初めてのファミリーウォークだったので何かもちが新鮮で楽しかったです。みんなでたくさん話しながら歩きました。まだ野球が上手ではなく、試合にもでることがなかったのですがチームとして歩けたことがとてもうれしかったです。みんなががんばって歩き、お弁当を食べたあと、つかれが残っているのにみんなで野球をしました。土手でやった野球は楽しかったです。抽選会ではごきごきしましたが当たりませんでした。たつている仲間が喜んでいて、見るのがいい気持ちになりました。来年も、小田ファイターズとして仲間と歩きたいです。



大師地区工作教室 令和8年7月25日(土)

「楽しかったよ」

四谷小 4年 橋場 栞子

私は、工作教室で楽しかったことが3つあります。まず1つ目は、的当てです。的当ては、トイレットペーパーで作られていたのが、300点などもありました。次に、2つ目は、キャッチボールです。自分の作ったキャッチボールマシンで、キャッチボールをしました。私は、全然出来なかったけど、家で練習して上達しました。最後は、作っている時です。最初分りやすく、教えてくれる、すぐ作れました。スタッフの、人が、器用だね、と何回も言われてうれしかったです。私は、家で、色々工夫して、色々なキャッチボールマシンを作ってみました。思い出した。紙皿とか、説明書をもとに、家族みんなで遊びたいと思います。工作がもっと好きになりました。また来年も、こういう機会があったら、やりたい、思いました。とにかく、今日は、すべへ、楽しかったです。



田島地区こども文化センター ボッチャ大会 令和8年2月28日(土)

「ボッチャ大会」

小田 小3年 河口 凜大

まさか自分のチームが、優勝してしまうなんて思いませんでした。初めてもらった金メダルだったので、うれしかったです。

でも、メダルをもらう時は、きんちゃんしました。家に帰って、お母さんと妹に金メダルを見せたら「すごいねー」と言ってもらえて、うれしかったです。また、ボッチャ大会で優勝しようと思っています。



BOCCIA JAPAN CUP 2026 令和8年3月7日(土)、8日(日) 田島地区青少年指導員 林田 里菜



先日、ジャパンカップボッチャ大会に参加させていただきました。全国から多くの選手が集まる大会に参加でき、とても貴重な経験となりました。試合では緊張しながらも、一球一球に集中してプレーすることができました。思い通りにいった場面もあれば、課題を感じる場面もありましたが、多くの学びを得ることができました。特に印象に残ったのは、パラリンピック日本代表を支える「コーチチーム」対戦できたことです。実際に対戦してみると、ボールを投げる技術だけでなく、状況を読み取り、作戦を立てる力が素晴らしい。投ごの意味や精度の高さに驚かされました。私たちが考えてもなかったような戦術を目の当たりにして、ボッチャの奥深さを改めて感じました。対戦を通じて「最後まであきらめずに考え続けることの大切さ」や「仲間とコミュニケーションを取りながら試合を進めることの重要性」を学ぶことができました。これからもこのチームワークで青少年指導員活動を行い、明るいまちづくり、協力していきないうちを築いていきます。